



「知への初々しい憧れと畏敬の念」

～子どもの学びを支える教師力・学校力の強化～

校長通信第133号

令和4年11月16日

5年生遠足「八景島シーパラダイス」

遠足は児童が楽しいもので

やることが目的化してしまいますと、疲れます。やりたいことは程遠いからです。遠足の目的を、小学校学習指導要領 特別活動編で確認してみましょう。例えば、次のとおり資質・能力を育成することが考えられると記載されています。

- 遠足・集団宿泊的行事の意義や校外における集団生活の在り方、講習道徳などについて理解し、必要な行動の仕方を身に付けるようにする。
- 平素とは異なる生活環境の中での集団生活の在り方やよりよい人間関係の形成について考え、自然や文化などに触れる体験において活用したり応用したりすることができるようにする。
- 日常とは異なる環境や集団生活において、自然や文化などに関心をもち、積極的に取り組もうとする態度を養う。

11月15日（火）、雨模様でしたが、傘なしで行動ができるほどであって、八景島シーパラダイスに行くことができました。コロナ禍でなかなか遠足ができなかった頃を思い出すと、こうして遠出ができるのは嬉しいものですし、幸せなのだ気付かされます。人間関係の形成の手段の一つとして遠足があります。普段の友達のよさに気付くきっかけとなることを5年生の担任一同願っていました。

5年生の学年目標は「自律」「協力」「責任」です。高学年としての自律的な行動をとることを約束しました。約束という制限を掛けて、制限のある中で自由を満喫することを勉強します。そこには、さらに負荷があって友達と協力するということ。友達と共にという条件で自由に楽しみます。当然、担任の先生からは、時間を守るなどの責任が課されるわけです。

さて、教育者の我々はこのことを意識しますが、子どもたちはなかなか難しいものです。個に依って助言や指導しながらであります。思い思いに子どもたちはシーパラダイス内を班行動しました。イルカショーも満喫しました。「とても」が付くほど楽しむことができました。楽しむということでシーパラダイスを選んでくれた5年生の先生方に感謝です。

今日の遠足の日が子どもたちに良い思い出となって残ることを願います。

